

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	林道整備事業(備前)	コード	04-01-02-01	担当課係	農林振興課 耕地治山係
事業実施期間	平成17年度	担当者	鈴木 秀喜	電話	0869-64-1830
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり			
	小項目	林業			
	施策	林道の整備			

事業について	
目的	林道を整備することにより森林の防火を図り、地域住民の生活道としての利用が安全に出来るようにし、また維持管理を行い林道の保全及び災害の防止に努めることを目的とする。
対象 (誰のために)	林道利用者、森林所有者
内容	林道の整備、維持管理

事業の結果	
実施項目	17年度 回数など (単位)
林道整備委託	3 路線
草刈賃金	2 路線
原材料	4 件

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,215	国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
	人件費	2,373	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,588	市債	3,588	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.28	人
結果指標①	林道草刈作業委託	
結果指標量	3	
単位	路線	
対前年比	—	0.00%
事業費	563,850	円
単位当たりコスト①	187,950	円

結果指標②	草刈賃金	
結果指標量	2	
単位	路線	
対前年比	—	0.00%
事業費	384,000	円
単位当たりコスト②	192,000	円

事業の成果	
成果指標名	5路線
式又は説明	
17年度	
成果指標量	
対前年比	—
到達目標値	到達目標年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	経年により森林利用者が減り、地域住民の生活道としての必要性が大きくなっているため、通行に支障をきたさないよう維持管理していく必要がある。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	限られた予算(委託料・賃金)の中では、維持管理できる路線数が少ないため、林道の利用者が多い路線を調査し、優先順位付けが必要である。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	現状では、本市の10%程度の林道しか維持管理ができないため、災害防止のためにも現有施設の維持管理をボランティア団体・地域住民等に参加してもらうなどの方法も検討していく必要がある。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	
コメント	台帳整理及び林道利用者の調査を行い、現状をきちんと把握した上で優先順位を付けていき、維持管理をして行く中で林道利用者・地域住民等の協力も得ながら、林道の保全及び災害の防止に努めていきたい。
評価区分	<A~E> A

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	3
翌年度 結果指標量②	2

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	利用者の調査	毎年	安全性、投資効果の向上
有効性	ボランティア団体等の参加依頼	毎年	維持管理の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。